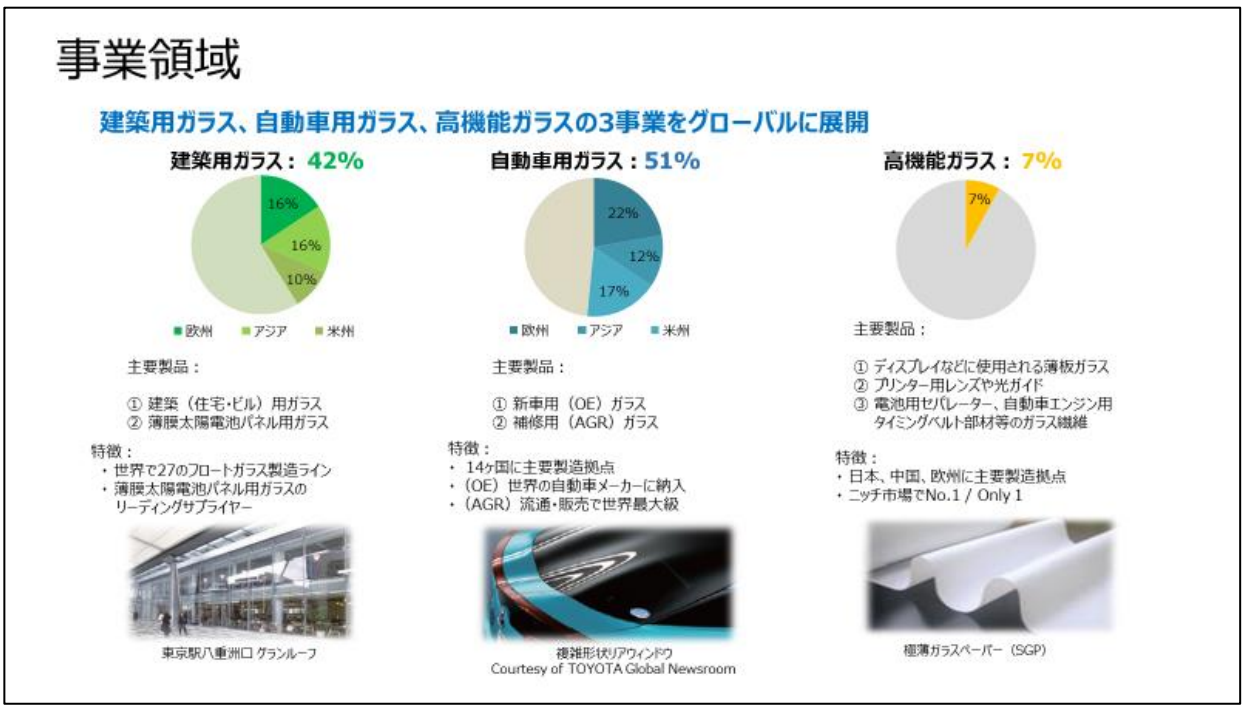
会社概要

NSG グループはガラス製品の世界最大メーカーの一つで、建築用ガラス、自動車用ガラス, 高機能ガラスを主要事業分野としています。

1918 年（大正 7 年）の設立以来、私たちの日常生活になくてはならない「ガラス」という素材にこだわり、さまざまな商品を社会に提供し続けてきました。2006 年には英国大手ガラスメーカー、ピルキントン社を買収し、NSG グループとして板ガラス分野でのグローバルかつ一体的な運営体制をスタートさせました。売上高はおよそ 6,000 億円、グループ従業員数は約 27,000 人。世界各地に主要な製造拠点を持ち、100 ヵ国以上で製品の販売を行っています。

NSG グループは、世界の建築および自動車用ガラス市場で大きなシェアを占めています。世界の広い地域をカバーしており、新車用ガラスをはじめとして、グローバルな事業展開を進めるお客様の要望に対応することが可能です。

高品質のガラス製品の製造を通じて、生活水準の向上、安全で快適な生活の提供、および創エネ・省エネに貢献しています。



沿革

1920 年代 – 1940 年代

事業拡大期

二島工場 （福岡県）

Nov 1918

日米板硝子株式会社を設立

1920

二島工場竣工

1931

社名を日本板硝子株式会社に変更

1935

四日市工場を設置（後に、四日市事業所へ改称）

1950 年代 – 1960 年代

生産能力増強

自動車用ガラス事業に参入

東洋初のフロートガラス最先端

舞鶴事業所（京都府）

1950

東京、大阪、神戸の各証券取引所に株式上場

1951

舞鶴工場を設置（後に、舞鶴事業所へ改称）

1963

千葉工場を設置（後に、千葉事業所へ改称）

1965

舞鶴事業所にて東洋初となるフロート板ガラスの生産を開始

1970 年代 – 1990 年代

自動車ガラス事業の成長と建築ガラス事業および自動車ガラス事業のグローバル化

新商品とニューテクノロジーに注力

海外投資により高機能ガラス事業の礎を築く

中核技術でありつづけるセルフォック®

1968

セルフォック®開発

1970

日本安全硝子株式会社を吸収合併し、川崎工場及び京都工場（後に、京都事業所に改称）を設置

1971

マレーシアに初の海外投資

1975

自動車用ガラスの合弁会社をメキシコに設立

1978

超薄板ガラス(UFF:ULTRA FINE FLAT GLASS)の生産開始

1979

硝子繊維製品の販売を開始

1979

創立 60 周年を記念し（公財）日本板硝子材料工学助成会を設立

1986

自動車用ガラスの合弁会社をアメリカに設立

1990 年代から現在

アジアでの事業拡大

ピルキントン社との連携強化

ベトナムフロートグラス社

1990

LOF 社の株式の 20%を取得

1995

自動車用ガラスの合弁会社を中国に、建築用ガラスの合弁会社をベトナムに設立

2000

ピルキントン社に出資

2001

ピルキントン社、持ち分法適用会社になる

2004

本店所在地を大阪から東京に移転

2006

ピルキントン社、当社の完全子会社となる

2007

ベトナムに、2 番目の建築用ガラスの合弁会社を設置

2008

委員会設置会社（現指名委員会等設置会社）へ移行

2014

長期戦略ビジョンと中期経営計画（MTP）を発表

2017

2018 年 3 月期から始まる 3 か年の中期経営計画（MTP）フェーズ 2 がスタート

Nov 2018

創業 100 周年